

経営比較分析表（令和5年度決算）

徳島県 海部病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	対象	訓	救 臨 感 へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
710,012	23,052	第2種該当	-	7 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

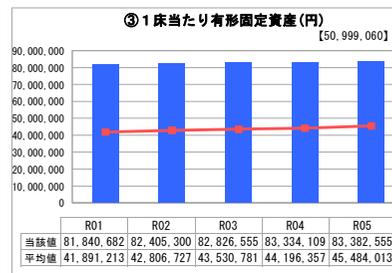
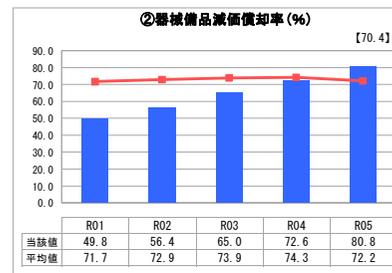
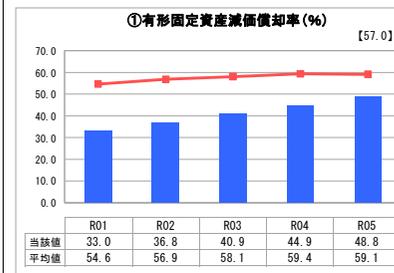
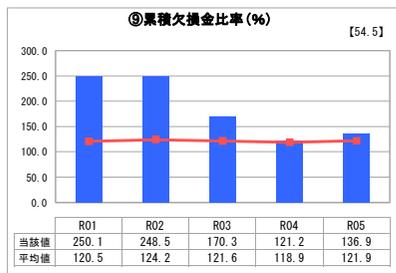
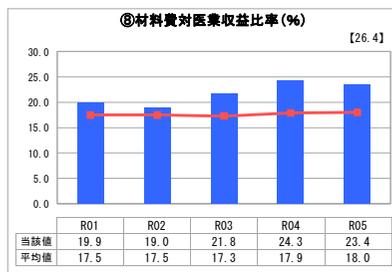
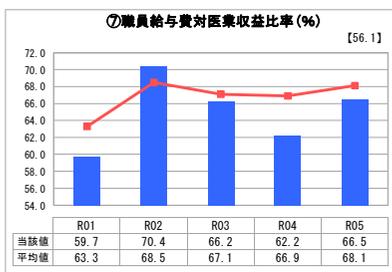
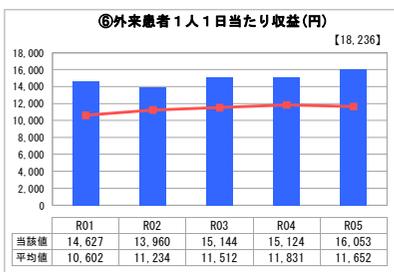
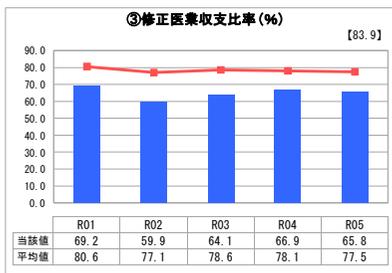
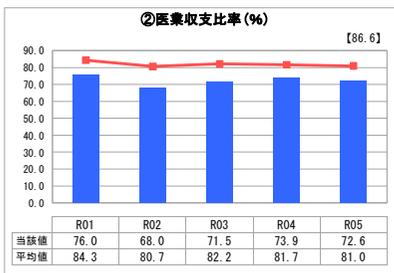
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
102	-	4
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	110
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
94	-	94

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

組織分化・連携強化 (従来の規模・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

海部病院の主たる診療圏は、海部郡一円と高知県東部の一部であり、近年過疎化が進み、受診対象人口が減少している。当病院は、地域における中核病院として、広く地域住民の医療需要に対応するため、救急医療等の不採算部門や高度特殊医療等の政策医療も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度については、令和4年度に比べ入院患者数は増加したものの外来患者数は減少した結果、診療収益は微増となった。一方で、費用は給与費が増加したことから、①経常収支比率、②医療収支比率、③修正医療収支比率は前年度より僅かに悪化した。

過疎化が進む地域で不採算部門を担っていることから、経常収支は赤字基調となっている。

2. 老朽化の状況について

海部病院は南海トラフ巨大地震による津波被害への抜本的対策として、高台への移転改築工事を行い、平成29年5月に新病院を開院した。これに合わせて器械備品の整備も行ったため、平成29年度以降は①有形固定資産減価償却率と②器械備品減価償却率は類似病院の平均値を下回っていたが、減価償却が進み、医療器械等の更新を順次開始したことから令和5年度の②器械備品減価償却率は、類似病院の平均値を上回っている。

全体総括

海部病院は、県南地域の中核病院として、救急医療等の不採算部門や高度特殊医療等の政策医療を担いながら、経営の健全化を図っているところである。

平成29年5月に新病院が開院し、維持管理経費や減価償却費等の費用が増加しているが、令和元年度には地域包括ケア病棟の導入により診療収益が増加し、収支改善が図られたところである。今後、地域の医療ニーズに対応しながら、施設基準の積極的取得に努め、診療収益の拡大を図ることで経営の健全化に努める。

また、後発医薬品の使用拡大や医療器械、医薬品、診療材料の共同購入等を推進して経費削減に努めるとともに、医療器械の整備についても、投資効果を十分に検討した上で戦略的に整備を行うことで、更なる経営の効率化に取り組む。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。